

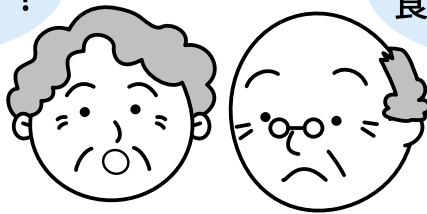
元気で安心して暮らせる地域を目指して

加齢によるもの忘れと認知症の違い

お昼なに食べたっけ？

昼ごはんを食べてない！

加齢



認知症

	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
症状	名前や日付など、とっさに思い出せない。	体験したすべてを忘れている。最近の出来事の記憶がない。
時間・居場所	意識がある。理解できる。	時間や自分のいる場所が分からなくなる。
幻覚・妄想	ない。	幻覚や妄想を伴う場合がある。
人格	変化なく、維持される。	人格崩壊を招く場合もある。
日常生活	支障なく生活できる。	日常生活を営むことが困難。

認知症ってなんだろう？

※平成16年12月から「痴呆症」の呼び方が「認知症」になりました。

いつまでもいきいきと輝いて暮らすために頭や体の若さを保つ工夫をしてみませんか？

最近、もの忘れやうつかりミスが気になりませんか？認知症は、こうした症状がひどくなり、自立した生活が難しくなっていく病気で、次の①～③の全てが揃うと認知症といわれています。

①「もの忘れが激しい」「言葉が出てこない」「注意力が続かない」「段取りが悪い」「何となく元気がない」の5つの内、2つ以上に当てはまる

②半年の間に、急に悪くなった

③生活に支障がある

認知症になると、記憶や判断がうまくできなくなり、人としての「感情」

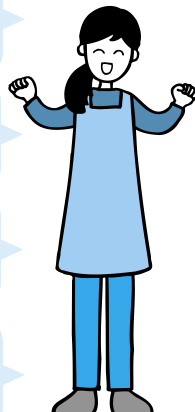
豊かな感情を支えるために大切にしたいこと

下手な対応



また忘れたんかね！
だめじゃろう！
そんなことがあるかね！
しっかりせんにゃあ

上手な対応



えかったねえ
お願いします
そうかもしれんねえ
ありがとう

- 親しみを込めて話しかける
- スキンシップを心がける
- 多少誤ったことを言っても訂正せずに聞く姿勢を示す
- 家にもりきりにさせない
- 人との交流を持つ
- 残っている能力をいかす
- 無理のない役割分担をする

は働いています。「感情」があるからこそ、不安・恐れ・恥じる・認められたい・自尊心・安心したいといった気持ちが生じます。その気持ちをおくみ取り、やさしく温かい気持ちで接することが大切です。

周囲の温かい対応が大切です